

学び-01 <子どもたちが活動空間を広げていく 普通教室>

学び-01-02 扉や壁を取り払う

普通教室とつながるオープンスペース

広島県府中市立府中中学園 | 教室の前のオープンスペースには、教員コーナー、グループ学習や個別対応の際に役に立つスペースもある。



中・高学年用のユニットのオープンスペース



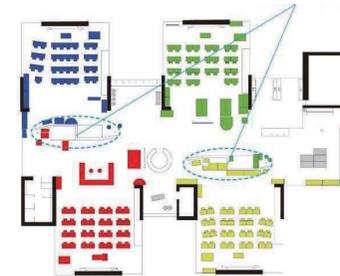
集会の場にもなる

生活-05-01_目的に応じて場所を選べる職員室 教室近くでも教員同士の打ち合わせが可能

千葉県千葉市立美浜打瀬小学校 | 教室とワークスペースの空間を一体的に広げたり、その間をランドセルロッカーで分節する。



家具で教室とワークスペースの間を仕切っている様子



教室を対面配置している場合、家具や遮音壁で仕切っている

共創-02-02_教職員との対話 教職員と研究者の対話を通じたワークスペースの改造

高性能PCや3Dプリンタを配置

埼玉県戸田市立戸田東小学校・戸田東中学校 | PBL (Project Based Learning: 課題解決型学習) の学びの中、アウトプットを行う過程で利用できるSTEAM Lab。

普通教室1つ分の広さのSTEAM Labの中に、クリエイティブソフトウェアをインストールしたハイスペックパソコンや、4Kモニター、3Dプリンターを配備している。専門家が使用するレベルのデジタルデバイスやデジタルファブリケーション機器を活用できるようにすることで、思った時にすぐに試行を重ね、創造することの実践ができる。



ハイスペックパソコン、4Kモニター、3Dプリンターを配備している



ハイスペックパソコン4台でひとつの鳥を作っている



3Dプリンターは、子どもたちの「作りたい!」という欲求に応える

実現プロセス:

- ・校舎の竣工後、研修室の一部を転用し、必要なパソコン、モニター、プリンター、ソフトウェアは、様々なメーカーから無償で提供を受けた。
- ・児童生徒は、総合的な学習の時間でPBLに取り組む際に、STEAM Labの使い方を学ぶ。
- ・PBLで実践する課題解決の手段の一つとして、従来の手書きのポスターなどに加えて、STEAM Labで行う動画作成、3Dプリンターでのグッズ作成などの方法を選択することができるようになり、子どもたちが自ら最適だと考えるアウトプットの選択肢が広がった。
- ・休憩時間にも、児童生徒がSTEAM Labの鍵を借りて自由に使用することができる。



ハイスペックパソコンで3Dモデリングを行う



グループでの試行錯誤



外部講師へオンラインで相談する

●戸田市のSTEAM Labの活用の様子 (YouTube動画)
<https://www.youtube.com/watch?v=XLUBHzrF7co>



様々な創作活動の発表の場

ドルトン東京学園中等部・高等部 | 「学びの設計・探究・発表」のサイクルを実践するための教育環境として、発表の場を用意している。

芸術イベントを充実した環境で行えるよう、講演・演奏・演劇のいずれの公演にも対応できる舞台設備が備わっている。生徒たちが穏やかな気持ちで集中して鑑賞ができるように、内装には木をたっぷり使用。「新緑の森」をイメージした、あたたかみのある空間。



講堂は、講演・演奏・演劇のいずれの公演にも対応できる舞台設備を備えている
(右上・右下：ドルトン東京学園公式Facebookより)



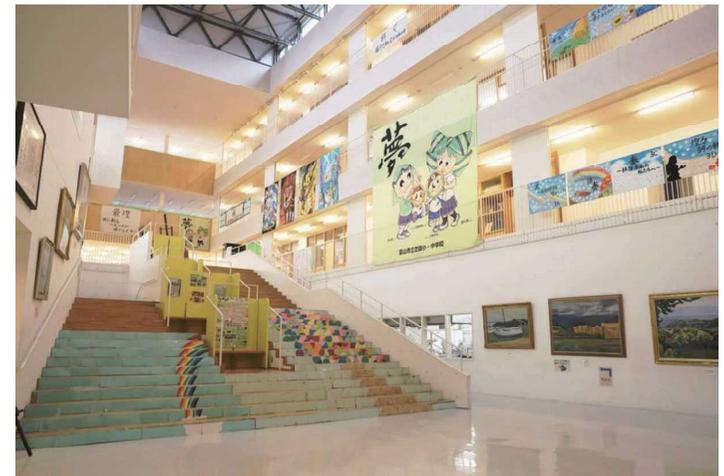
教室棟の中央には、発表の場ともなるラーニングcommons大階段がある
(右：ドルトン東京学園公式Facebookより)



富山県富山市立芝園小学校・芝園中学校 | 階段状の部屋や大階段は、発表の場としても使用される。



小学校：合唱・集会・音楽の授業で使用される「表現の舞台」



中学校：1階から2階へ上がる大階段は、昇降口から教室に行くまでに通る場所であり、ネットワーク利用が可能な無線LAN環境が整備されているため、発表の場にも使用される